



地域産業資源活用
4社に認定書交付
沖縄総合事務局

沖縄総合事務局は1日、
2009.7.2. 新報

「地域産業資源活用事業計画」の認定式を那覇市おもろまちの同局で開き、沖縄の地域資源を生かした特色ある商品づくりやサービスを展開する4社に認定書を交付した。福井武弘局長は「新規性などを評価した。粘り強く商品開発に取り組んでほしい」と激励した。「売れるところまで総合的に支援することを目指す事業化計画の認定によ

地域産業資源活用事業の認定書を受けた4社の代表(前列)
11日、沖縄総合事務局

り、市場化支援の補助金(補助率3分の2、期間内で上限3千万円)などの支援が受けられる。事業者と概要、代表らのコメントは次の通り。

- ▽スケアクロウ(亜熱帯性花きなどを活用したプリザードフラワー加工商品などの開発・販路開拓)、「生花の風合いを生かし、アジアへの流通も考えた」(玉田るみ子代表)▽レキオファーマ(パイアを用いた機能性乳酸発酵食品の生産・販売)、「アレルギー性鼻炎やぜんそくなどを改善する食品としてPRしていきたい」(奥キヌ子社長)▽沖縄情報ドットネット(着地型観光商品の開発、情報発信、販売拠点整備)「体験を基にした観光案内で、沖縄にお金が落ちる仕組みをつくり、リピーターを増やしたい」(北村嘉規社長)▽シンプロ(宮古島の観光資源を活用した「美と健康」志向型観光商品の開発・販売)、「伝統芸能への参加や島の野菜を生かした料理体験などを提供したい」(島袋竜乃進営業企画部長)